

令和8年度 認知症介護研修 改正のポイント

これからの研修カリ
リキュラムと運営方針



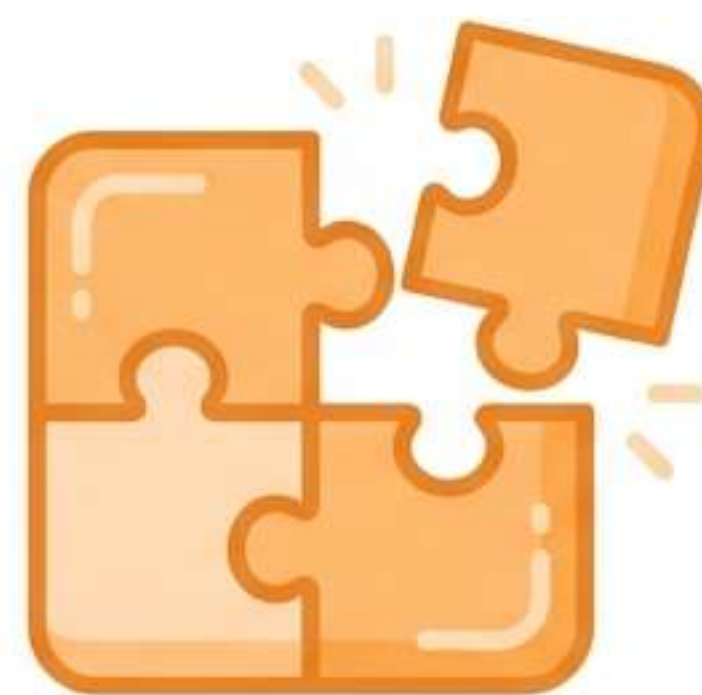
今回の改正、3つの大きな柱



**尊厳と意思決定
の支援**



**BPSD（行動・心
心理症状）の予防**



**チームケアと
マネジメント強化**

オンライン研修の本格導入



**集合研修と同等の効果が期待できる科目は、
「同時双方向のオンライン講義・演習」での実施が可能になります。**

4つの研修ステップ

各ステップでカリキュラムと
時間数が見直されました。

指導者

実践リーダー

実践者

基礎



1. 認知症介護基礎研修

原則「eラーニング」での実施

新規スタッフへ迅速に適用
できる体制づくりを推奨。



2. 認知症介護実践者研修

講義・演習：拡大

23時間 → 24時間

「認知症の人の意思決定支援」と
「BPSDを予防するケア」の科目が充実。



3. 認知症介護実践リーダー研修

講義・演習：拡大

28時間 → 31時間



事業所全体のチームケア構築、
ストレスマネジメントの理論が追加。

4. 認知症介護指導者養成研修

講義・演習：最適化

128時間 → 112時間



オンラインを活用した授業設計や、
地域連携・共生社会づくりを牽引するスキルを強化。

改正カリキュラムの要点まとめ

対象	変更後の時間	新たな重点テーマ
実践者	24時間	意思決定支援・BPSD予防
実践リーダー	31時間	チームマネジメント強化
指導者	112時間	オンライン教育・地域連携

令和8年4月より適用開始



※令和9年3月31日までは、移行措置として従前の規定での実施も可能です。

新しいカリキュラムに向けた準備を進めましょう！